

公益財団法人国際エメックスセンターについて

1 目 的

国際エメックスセンターは、市民、事業者、研究者、行政等の各主体間の有機的ネットワークを構築し、国際的かつ学際的な交流を推進するとともに、調査研究及び研修の実施並びに活動に対する支援等の事業を行い、もって閉鎖性海域の環境の保全・創造及び多様な自然と人間が共生する持続的発展が可能な社会の構築に寄与することを目的としています。

2 組 織

- (1)経過 1994年11月 任意団体として発足
2000年4月 内閣総理大臣より財団法人の設立認可を受け、環境庁所管となる
2001年5月 外務大臣及び環境大臣より変更認可を受け、外務省・環境省の共管となる
2012年3月 内閣総理大臣の公益認定を受け、公益財団法人となる
- (2)役員等 会 長 齋藤元彦（瀬戸内海環境保全知事・市長会議議長、兵庫県知事）
理事長 岡田光正（広島大学名誉教授、放送大学名誉教授）
- (3)基本財産 約12億円（出捐団体：兵庫県、神戸市、大阪府等地方自治体、公益団体、企業等）

3 事 業

- (1) 閉鎖性海域に関する情報の収集及び提供
 - (2) 閉鎖性海域の環境の保全・創造に関する調査研究
 - (3) 閉鎖性海域の環境の保全・創造に関する研修の実施
 - (4) 閉鎖性海域の環境の保全・創造に関する活動に対する支援
 - (5) 閉鎖性海域の環境の保全・創造に関する国際機関等の活動に対する協力と連携
 - (6) 国際会議の開催等閉鎖性海域の環境の保全・創造に関する国際交流の推進
 - (7) その他センターの目的を達成するために必要な事業
- 閉鎖性海域環境保全推進事業
 - ・世界閉鎖性海域環境保全会議（エメックス会議）や国際セミナーの開催等による交流の推進、国際的、学際的ネットワークの構築等
 - 情報収集整備活用事業
 - ・閉鎖性海域の環境に関する情報収集とデータベースの作成
 - ・ニュースレターの発行やインターネットを通じた情報の提供、交流
 - 普及啓発・人材育成事業
 - ・開発途上国の中堅行政官を対象とした閉鎖性海域等の水環境管理研修の実施
 - ・海の環境学習プログラムの実施
 - ・高校生海洋環境保全研究発表会の実施

4 世界閉鎖性海域環境保全会議（エメックス会議）

・第1回エメックス会議（エメックス'90）	1990年8月3日～6日	日本・神戸
・第2回エメックス会議（エメックス'93）	1993年11月10日～13日	米国・ボルチモア
・第3回エメックス会議（エメックス'97）	1997年8月11日～14日	スウェーデン・ストックホルム
・第4回エメックス会議（エメックス'99）	1999年11月9日～12日	トルコ・アンタルヤ
・第5回エメックス会議（エメックス2001）	2001年11月19日～22日	日本・神戸／淡路
・第6回エメックス会議（エメックス2003）	2003年11月18日～21日	タイ・バンコク
・第7回エメックス会議（エメックス7）	2006年5月9日～12日	フランス・カーン
・第8回エメックス会議（エメックス8）	2008年10月27日～30日	中国・上海
・第9回エメックス会議（エメックス9）	2011年8月28日～31日	米国・ボルチモア
・第10回エメックス会議（エメックス10）	2013年10月30日～11月3日	トルコ・マルマリス
・第11回エメックス会議（エメックス11）	2016年8月22日～27日	ロシア・サンクトペテルブルク
・第12回エメックス会議（エメックス12）	2018年11月4日～8日	タイ・パタヤ
・第13回エメックス会議（エメックス13）	2021年9月6日～9日	オンライン

5 事務局

神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号 人と防災未来センター5階
TEL 078-252-0234 FAX 078-252-0404
URL <http://www.emecs.or.jp>